



「やってみたい!」「なんでかな?」は、子どもの成長の大きな第一歩!

夏休みが近づいてきました! 学期のまとめをバッチリやりきって気持ちよく夏休みをむかえましょう!
自分の追究したいテーマを決めて「わくわく学習」にとりくんでいる人がとても増えてきました。すばらしい!

2年 弓戸ちなつさん「たまごりょうりだい3だん」

(なぜやったのか)まえてできなかったししらべていいのがあったからです。
(つくりかた)スクランブルエッグ

- ① たまごをわる。
- ② 牛にゆうをいれる。
- ③ しおこしょうもいれる。
- ④ まぜる。
- ⑤ フライパンの中にたまごをぜんぶいれる。
- ⑥ ポイント👉ふわふわをのこす(火をとおしすぎない)
- ⑦ おさらにいれる。
- ⑧ ウィンナーをやく。
- ⑨ はしでコロコロする。
- ⑩ おさらに入れて・・・かんせい!

(かんそう)お姉ちゃんに食べてもらったら「おいしい。ありがとう。」と言われてうれしかったです。お母さんとお父さんも「めっちゃおいしい。」と言ってくれてうれしかったです。

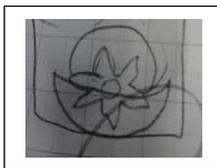


弓戸さんはたまごりょうりにきょうみをもって、たまごをつかったりょうりにチャレンジしています。まとめ方もいつもいねいでじょうずです。

4年 小原つぐみさん「トマトを長持ちさせる方法」

(きっかけ)トマトを長持ちさせる方法をテレビで放送されているのを見て不思議におもいはじめ調べたことがきっかけ。そしてSDGsにもつながるのかと考えたからです。

(予想)トマトを長持ちさせるには向きが大切なところまでつきとめました。(トマトを長持ちさせる向きの図)



ヘタを下にする



ヘタを上にする

(調べた結果)

ヘタを下にしておくでした。理由はヘタを上にしたままだと赤い実のところがいたむので長持ちできません。一方ヘタを下にしておくことで赤い実のところがいたまないで長持ちがします。

(ふりかえり)トマトをながもちさせることは初めはしりませんでした。このことを家庭で活かしたいです。

小原さんは「不思議だな」と思ったことをそのままにせず調べています。絵があることで納得感があがりますね。

